昭和62年３月１日発行 №290

広報 あかいけ 3

■発行／赤池町役場〒822-11福岡県田川郡赤池町大字赤池1146番地の1 ☎0947(28)2004 ■編集／総務課文書広報係

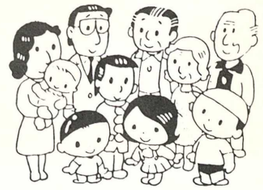
★町の人口★ 人口10,207(＋8) 男4,846(＋6) 女5,361(＋2) 世帯合計3,419(＋3) 62年１月末現在( )内は前月との比較です。

最強地下たび軍団
（３支所）

第一回町民綱引き大会

赤池町は みんなで引っぱる

議会だより



昭和六十二年第一回一月臨時町議会が一月二十六日に行われました。議案は二件でいずれも原案どおり可決されました。内容は次のとおりです。

◎専決処分について

昭和六十一年度同和地区改善施設整備事業「赤池同和対策集会所新築工事」（三月二十七日完成予定）の請負契約を締結する必要が生じましたが、町議会を招集するのが困難であったため、専決処分をしたもので、これを報告し承認されたものです。

◎工事請負契約の締結について

昭和六十一年度臨時石炭鉱害復旧事業「赤池保育園復旧工事」（三月三十一日完成予定）、ならびに昭和六十一年度過疎対策事業「赤池第2ニュータウン道路工事長浦三号線第一工区」（三月三十一日完成予定）の二件の工事予定価格の金額がいずれも三千万円を下らないため議会の議決を得ました。

力合わせて、踏んばって！

二月十四日、町民会館と勤労者体育センターで「第一回町民綱引き大会」が行われました。

参加したのは、三十三チーム、一チーム8名の選手ですから、33×8で二百六十四名、それに各チームの応援団が加わり、三百人ははるかに超える人たちが集まりました。

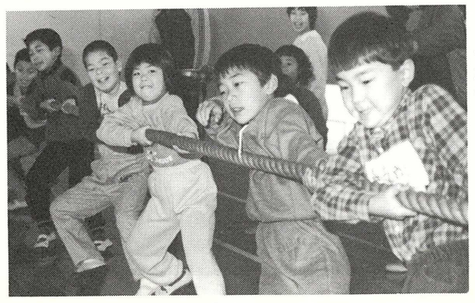
試合は、小学生、中高校生、婦人、壮年、それに青年と壮年を中心にした最強チームの五部門の各地区公民館対抗で熱戦ばかり。

綱を引く、みんなで力を合わせればどうにかなる。技術なんていらない。やってる方も、見てる方も理屈ぬきで面白い。今回参加されなかった方、又やりますので今度は是非参加して下さい。本当に面白いですよ。

なお成績は次のとおりです。

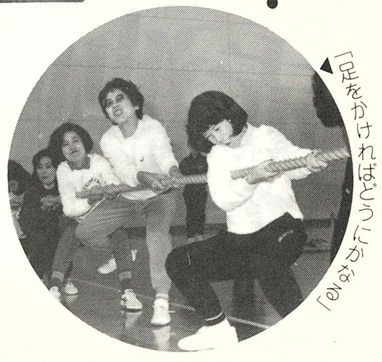
▽小学生①十二支所②猿畑▽中高校生①3支所▽婦人①七支所②猿畑▽壮年①3支所②猿畑▽最強軍団①3支所②七支所

▲大人の方が一生懸命？



◀やれ引け！もっと引け!!

「力は入れているんですが…」▶



「足をかければどうにかなる」▶

タンポポ

3、4月ごろの野原で目につく黄色い花は「タンポポ」。春の光を吸い取って咲いた感じのキク科の多年草です。

地面にはりついたように生えるヘラ形の葉には不規則なギザギザがあり、その中心部から伸びた茎の先端に、黄色またはクリーム色の花が開きます。「鼓草（つづみぐさ）」という名は、その花の形が鼓面に似ているから付いたものです。

地方によってタンポコ、タンタン、テテポポ、デデポッポの呼び名があるところからみてもこれは鼓の音色を模した擬音語で、子供たちが言い出したものと思われます。

漢字で書くと「蒲公英」。開く前の花を乾燥させて作る漢方の解熱・発汗剤の薬名です。

英語の「ダンディライオン」は〝ライオンの歯〟を意味するフランス語からきた言葉。ギザギザの葉がライオンの歯並びを連想させたことによる命名でしょう。

猛獣のイメージは西洋的ですが鼓の響きを伝える「タンポポ」はいかにも日本的です。

所得税確定申告 —— 16日まで（税務署）

第二次赤池町総合計画

この計画の主役はあなたです!!

今月からは、21世紀に向けてのまちづくりの6つの柱をそれぞれひとつづつ細かく説明し、基本構想でどうなっているのか、また第1期の基本計画では基本構想に向けてどう方針をたて、どう主要な施策をしていくのかを図式で関連させながら説明していきます。

21世紀の赤池町の骨格形成に向けて

基本構想

【1，土地利用】

豊かな自然と歴史、文化および都市的魅力との調和をはかり、本町の個性を生かした活力ある住みよいまちづくりを推進する。このため、本町を農業、工業、商業、観光の振興をはかる地区、良好な住宅地として計画的に整備を促進する地区、公共業務、文化、体育、福祉等の施設の集積をはかり、コミュニティの中心として整備を促進する地区、良好な自然環境を保全する地区に区分し、これらの地区の特性、機能を充分に生かすよう法的規制、誘導策を活用し合理的土地利用を促進する。

【2，交通体系】

円滑で安定した生産活動、都市活動の確保と安全でうるおいのある生活環境を守るため、モータリゼーションの進展に対応した総合的な交通体系の確立をはかる。

即ち、広域的な交通を大量に処理する主要地方道田川一直方バイパスを根幹に、周辺市町村と連絡する幹線道路である主要地方道田川一直方線、主要地方道北九州一小竹線、県道田川環状線を骨格とする道路網の段階構成の明確化をはかる。

また、これに応じ老人、子供等の交通弱者へのサービス向上を考慮した公共輸送機関の再編、強化を促進する。特に、北九州市、直方市から本町を通り田川市へ抜ける高速公共輸送機関の確保に努め、時間距離の短縮をはかる。

【3，水資源】

将来の人口増、核家族化による世帯増、生活様式の変化および工場の進出等による水需要の増大に対処するため、水は人々が生きていく上で欠かすことのできない限りある重要な資源であることを認識し、水の有効利用についての意識向上をはかる。また、新たな水資源の開発および給水施設、農業用水路の改良整備を促進し、水の安定供給に努める。

第1期基本計画

◆計画期間／S61年度～S65年度○テーマ／「出会いとふれあいと安らぎの場の創造」○人口フレーム／10,200人◆

基本方針	主要施策
豊かな自然環境、文化、歴史的資源との調和を図るよう住宅、産業の配置を行ない、また、新たな緑、文化を創造することによって、ふるさととして魅力あふれる住みよいまちづくりを進める。	○計画的、合理的な土地利用を促進するため、国土利用計画法に基づく町土地利用計画を策定する ○また、この町土利用計画に基づき都市的土地利用を適切に規制、誘導するための都市計画区域および地域地区指定の検討を行なう
主要地方道田川一直方線バイパスを根幹として道路の段階構成の明確化をはかり、安全性、円滑性、快適性に充分配慮した整備を促進する。	○県道田川環状線の建設を促進する ○中心地区を貫く主要地方道北九州一小竹線を本町のシンボル道路と位置づけ、優れた景観を持つ緑豊かな空間への整備を促進する ○町道貴船迫一高尾線、入来一高鶴線の線形の整形化、拡幅整備を促進する ○その他の道路については、道路体系の中における位置づけ、緊急性を充分検討し、計画的かつ効率的に整備を進める。
住民の足を確保し、利便性の高い有機的かつ合理的な交通体系を確立するよう公共輸送機関の充実を促進する。	○関係市町と一致協力し、伊田線の存続および列車の増便について強く要望していくとともに、存続のための条件整備を進める ○バス便の増便、定時性の確保および路線の拡大を求めて関係機関に働きかけていく ○赤池駅におけるバス便と鉄道便の有機的連携を強化する ○福祉バス応用による町内主要公共施設利用バス運行を検討する
水道事業の健全化に努めるとともに、水需要の増大に対処するため水資源の開発を進める。 農業用水については、生活排水との分離をはかり、農業用水路等の整備を進める。	○貴船水源および給水施設の開発を促進する ○県、広域市町村圏との緊密な協力のもとに、田川地区に多目的ダム建設の促進をはかる ○住民に対し積極的に節水意識の高揚をはかる ○既存水源の有効利用および有収率の向上に努める ○農業用水路、溜池の改良整備を促進する ○計画的な土地利用の促進等、総合的な水質保全策を推進する

家出少年発見保護強調月間 — 31日まで（警察庁）

健康教室④

―糖尿病について―

赤池町立病院
内　科
廣瀬憲治

今まで三回の教室で糖尿病とはどんな病気で、合併症がどれほど恐ろしいか、ということをお話ししました。今回は治療についてお話ししましょう。

糖尿病と治療

ポイント8―治療とコントロール

治療は、病気の原因や症状をとり除き、もとの健康体に戻すことですが、糖尿病はその意味では完全に治すことのできない病気なのです。しかし糖尿病治療によって、患者さんが病的な症状を示さず、健康人と変わらない社会生活を送り長生きすることは可能で、このことを糖尿病の「コントロール」といいます。そして糖尿病をコントロールするため、食事療法・運動療法そして薬剤療法があるのです。コントロールの基準として、

①自覚症状がないこと
②朝食前の尿糖が陰性
③朝食前の血糖値が110mg／dl以下
④一日の血糖値が常に150～160mg／dl以下
⑤一日の尿糖が10g以下
⑥血中コレステロールが正常範囲
⑦尿中アセトン体が陰性
⑧低血糖症状が無い事
⑨標準体重の維持
⑩合併症が無い事
⑪ヘモグロビンA1が8％以下

以上のことから糖尿病のコントロールとは決して血糖値を下げることだけではないことが分かると思います。

ポイント9―食事療法

食事療法は、糖尿病治療の基本です。糖尿病患者さんのうち70％の人は、食事療法のみでコントロールできるといわれています。また薬を使っている患者さんも、必らず食事療法を守らなければ良いコントロールはできません。

食事療法の原則は、

❶適正なエネルギー量に制限する

患者さんが健康人と変わらない生活をするために必要でかつ最小のエネルギーを摂取し、体重を適正な体重（標準体重）で維持できる食事の量でなければなりません。

標準体重とは、各自の患者さんの適正な体重の目安となるもので、として求められます。この標準体重と患者さんの年令、性別、仕事の量などを考えて一日に摂取するエネルギー量を決めるのです。つまり現在の体重ではなく必らず標準体重を基準に決定するのです。

具体的には表に示しておきます。

❷三大栄養素の適正な補給

糖質は一日に最低百g（米飯で茶碗二～三杯）、たんぱく質は標準体重一kg当り最低一g（1/3は魚などの動物性で残りは豆や乳製品で）、残りの20～25％を脂肪でとるのが良い。

❸ビタミン・ミネラルの適正補給

3大栄養素を有効に利用するのを助ける働きをし、野菜・きのこ・海草などに多く含まれエネルギーは他の食品に比べ低いのでたっぷり食べて補給するようにします。

❹食品の適正な選択

糖尿病患者さんが食べてはいけない食品はありません。しかし、偏食をせず、いろいろな食品を組み合わせて必要な量をとる様にします。一日に三十種類以上の食品を選ぶのが良いと言われています。以上の様に食事療法は毎日の事でもあり、きちんと実行するにはなかなか難しいものです。誰にでも実行できる様にと考えられたのが糖尿病学会の「食品交換表」です。

―――つづく

一般的な求め方

総エネルギー量＝（仕事量 キロカロリー）×標準体重(kg)

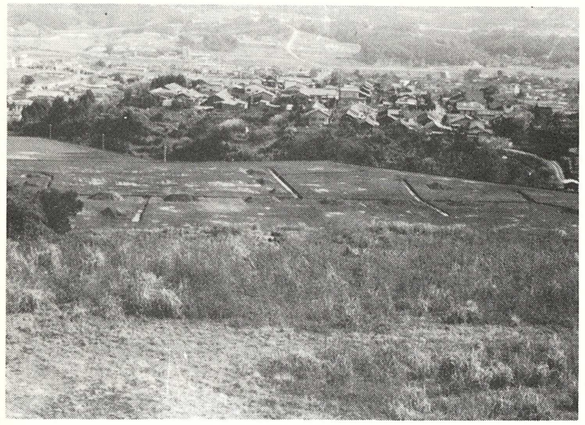
体重1kg当りの仕事量

軽労働……25～30	やせ型 若い人	高い方をとる
中労働……30～35	肥満型 老人	低い方をとる
重労働……35～		

企業のみなさん 赤池町へ来て見て下さい!!

▲「赤池工場団地のPRをお願いします」日野町長

▼福祉センター二階からの工場団地



二月十三日、筑豊地区の工業団地視察会が、各新聞社などマスコミ関係者、九州経済連、九電、通産局、進出企業連合、県職員（企業立地課、地域振興課）など総勢三十五名で行われました。

これは筑豊地区を取り巻く多くの問題、又厳しい状況を理解してもらい、筑豊地区に企業誘致を推進していただくため企画されたもので、一行は、福岡市天神から西鉄バス一台を借り切り、宮田町工場団地視察の後赤池町へ到着しました。

赤池町の工場団地を見下ろす、「福祉センター」の二階ベランダから、日野町長が「やきものと文化のまち『赤池』私たちのふるさと『赤池』に企業が来てくれることを心より望んでいます。」とあいさつ、又、企業が進出した場合の利点などにも触れ、「PRをよろしくお願いします。」とマスコミ関係者に依頼をしました。

町長の説明にうなずきながら、眼下にある工場団地を指差し熱心にメモを採り、写真を撮る三十五人の方たちの姿に、期待させるなにかを感じました。

緑化強調月間 ― 1日～5月31日（林野庁）

同和問題解説 シリーズ⑪

同和教育って、なに

同和地区という行政用語が被差別部落という言葉に代って使われてきたからでしょうか。これまで同和教育がずいぶんまちがった見方をされてきたようです。ややもすると、「同和教育は同和地区の人たちのための教育だ」というような見当ちがいをされたり、あるいは「同和教育は、部落差別をしないように指導する教育だ」というように狭く解釈されてきました。

しかし、本当の同和教育とは、そんな同和対策教育とは少しちがうと言わねばなりません。同和教育の本質は、人権教育であり、人間解放の教育なのです。差別する人も、差別される人も、共に差別、のしがらみから解放され、人間が人間らしく生きるための人間変革の教育なのです。封建的な考え方から解放され、民主的な人間に変わるための教育なのです。

つまり、同和教育の内容は、生活学習であり、人生学習であり、社会学習であり、憲法学習なのです。

さらに言えば、民主社会を構成しているわたしたち一人ひとりが、しあわせに生きるてだてをさぐる学習なのです。その学習の中に、典型的な差別としての部落差別がとり上げられ、それを基点としてあらゆる角度から人権を考え、社会を見直し、家庭のあり方を見直し、自分の生き方を見直し、あるいは社会的弱者の立場を見直し、みんなの平和やしあわせを見直してみようとする、そんな学習の中身をもつものが同和教育あるいは解放教育と呼ばれるものなのです。

もちろん、こうした学習を通じて部落差別をなくし、最終的には真の民主主義を確立する展望をもっているのが同和教育なのです。

のこっている部落差別意識

「いまどき部落差別なんてありませんよ。」と言う人がいます。また、一方では「差別は潜行している。心の中の差別心を巧妙に隠すようになったのではないでしょうか。」と指摘する人もいます。

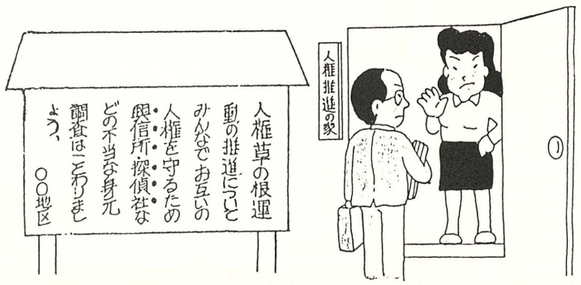
わたしたちの社会に、同和教育が広まるにつれて、同和問題について理解をする人々が多くなってきました。

しかし、「本当に部落差別がなくなったと言えるのか」と問われると、「残念ながら、まだのこっている。」と答えねばなりません。

なぜなら、不当な差別事象が社会の中で、ひんぱんに起っている事実があるからです。

こんなことが――――！

テレビのC・M（コマーシャル）でおすもうさんがでてくる有名な寝具の製造・販売会社では、フトンなどの月賦販売を行っていますが、この会社が会社内でひそかに「販売禁止地区」などを書いた極めて悪質なリストを作って営業活動に利用していたことが、数年前明らかになりました。



このリストに書かれている「売ってはいけない人」は、①被差別部落の人　②日本国籍のない人　③身体障害者　④母子家庭の人　⑤日雇労働者の人　⑥生活保護家庭の人　⑦65才以上の老人家庭の人　⑧清掃や衛生の仕事に従事している人……この外にもいろいろと29項目にわたっていました。

こんなリストを販売員に持たせて営業していたのです。

やはり、差別は生きているのです――…。

わたしたちの社会の中に、まだ偏見や差別が生きているのです。

部落差別だけでなく、「差別」は、身障者、女性、老人、職業、人種などの差別と一緒になって社会の中に生きています。部落差別をする心は、そのまま広く社会の中の多くの差別を生んでいるのではないでしょうか。

学歴差別、貧富の差別、家柄差別、新参者扱い、女性差別……。そんな差別を受けて、許せないと怒ったこともあるでしょう。

でも、そうでありながら、どうして部落差別をするのでしょうか。

みんなで、すべての差別をなくしたいものです。

福岡県部落史研究会資料より

今月の解放講座

とき　3月25日（水曜日）
　　午後7時30分から
ところ　同和対策中央研修所

自己を見つめ、暮しを高める解放講座へ、みなさんさそいあって参加しましょう。

3日 ―――― 耳の日（厚生省）

国民健康保険税の滞納者 保険証の交付停止

昨年十二月の国会で国民健康保険法が一部改正されたことにより昭和六十二年から悪質な保険税滞納者に対して保険証の返還や、保険給付の一時差し止めなど法的な措置がとられます。

ただし災害など、特別な事情がある場合は除外されます。

この措置は、あくまでも悪質な滞納者に限定して運用されるものです。

【悪質な滞納者とは】

○長期間滞納して、特別な事情もなく故意に保険税を滞納している人。

例…①督促および納付指導にも一向に応じようとはせず連絡もない人　②滞納処分を行おうとすると財産の名義を他人名義に変更するなどして、保険税納付を免れようとする人

【法的な措置とは】

①保険証を返還させ、代りに「被保険者資格証明書」を交付します。

②被保険者資格証明書は、医療機関で保険者負担（診療費の七割）を受けることができません。

したがって窓口では、診療費の全額を支払うことになりますが、保険税を納めた時点で療養費としてお返しします。（表）

③滞納した保険税を納めなければ療養費はもちろん、高額医療費、助産費などの現金給付の全部または一部が差しとめられます。

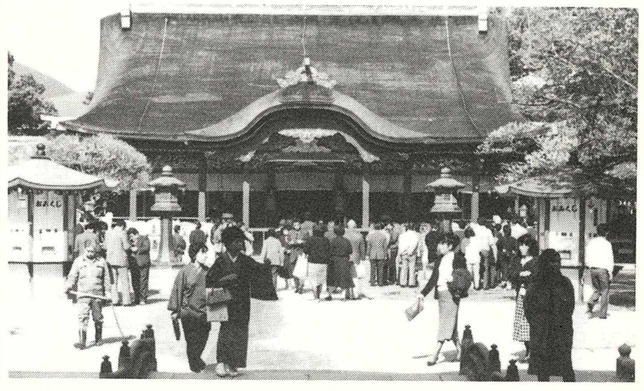
（表）

例：診療総額 10,000円の場合				
保険証で受診した場合			被保険者資格証明書で受診した場合	
診療費総額	10,000円		診療費総額	10,000円
自己負担額 30%	3,000円	支払内訳	支払内訳 自己負担額 100%	10,000円
保険者負担額 70%	7,000円		保険者負担金 0%	0円

この時期『太宰府天満宮』を赤池町に借りてきました！

受験生、そして家族のみなさん頑張って下さい!!

— ゴールはもうすぐ —



四月から国民年金の保険料7400円（現行7100円）

国民年金の保険料が、四月分から一ヵ月につき七千四百円に引き上げられます。

これは、年金額が物価の上昇に応じて引き上げられていることや年金受給者が毎年増えていることなどから、年金支払の費用も増えています。この増加する年金支払の財源に引当てるため、保険料も改められるわけです。

あなたが納める国民年金の保険料は、あなたの将来の年金権を確保するうえで大事なことです。

もしも、保険料を納め忘れたりした場合には、年金が受けられなくなったり、年金額が減額されることはもちろん、あなたのお子さんやお孫さんたち後世代の負担を大きくすることになります。

国民年金をよりよくするため、あなたも国民年金の保険料の納付に、ご協力ください。

投稿　俳句雑考⑧

三木春翁

松尾芭蕉の「奥の細道」は俳句を混じえた紀行文である。名文と名句が一体となり、古今の名著となっている。

○夏草や兵どもが夢の跡

の部分はその象徴的なものである。

私も手紙にはよく俳句を添えて書く。二月に妻の実家（博多）の娘が壱岐島へ嫁入するのに祝儀と手紙を送ったが、「俳句を書いた手紙など初めてで、まことに有難うございました」と喜びの返事が来た。俳句を添えた手紙など、たまにはいいでしょう。（以下全文を紹介します）

○博多より壱岐への旅の春となる

○梅便り曽良の話も聞かま欲し

幸子さん、御結婚お目出度う。二月四日が立春。壱岐の島にも春が訪ずれ梅の花も咲いていることでしょう。おぢさんも壱岐へは一度俳句の旅行をしたことがあります。初夏の頃でした。

○車井戸今も使ひて島涼し

十余年前のことですが、壱岐には今も車井戸を使っている所があるかも知れません。

曽良は芭蕉のお伴をして「奥の細道」の旅に行った俳人です。曽良の墓がどうして壱岐にあるのか定かではないようです。

万一梅だよりでも下さるようなことがあれば（傳聞の）曽良の話も聞かせて欲しいものです。

おばさんは入院中ですが、只今仮退院中で（五日間）割合元気にしています。

幸子さんの御結婚を心から御喜び申し上げ、永く幸せでありますよう御祈り申し上げます。

御両親やおばあちゃんによろしく御傳声下さい。

老齢のため書面で御喜び申し上ます。

二月二日（妻と連名にて）

○壱岐の旅朝より晴れし梅日和

○壱岐の旅偲ぶ一枝の白椿

蕾のふくらんだ一枝の白椿を一輪差にさしていたのが、キレイに開花していた。

私はその白椿の花を見ながら（二月八日）壱岐へ結婚に旅立つ娘のやさしい顔や、美しい婚礼衣裳などアレコレと偲んでいた。

つれづれに⑦⑤

老人ホーム　天郷荘　松本たかし

○去年今年更に発展広報紙

○この町も女権高らか明けの春

○健やかに新春迎えり老い冥加

○年酒酌み総勢そろひ祝賀せり

○園児らと七日正月歓喜満つ

○正月や世代のシルバー一病息災

○大雪や寒波襲来峡凍る

○数で押す政治の圧力春遠し

○古都の画家より画集届く小正月

○新年や暴追手を組み町パレード

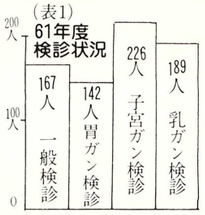
建築物防災週間 —— 7～13日（建設省）

お元気ですか保健婦です⑧

今月は61年度の締めくくりとして町が実施した検診の結果をお知らせします。各種検診を受けた延数724人で、検診別にみると図Ⅰの通りです。一般検診を受けた人の内、48%の方が成人病予備群であり13%の人は医療の必要な人でした。

ガン検診をみると検診者はグーンと増えました。「健康は自分の手で」、「ガンは早期発見で治る」というのは侵透しつつあるのでは!? この内さっそく病院で治療した方もいらっしゃいます。

（表1）61年度検診状況



（表2）集団健康相談血圧結果

次に年輩の人を中心に、集団で血圧測定をしましたが結果をみておわかりの通り、赤池の住民の人も年と共に高血圧症から、免れられないようです。この中に梨を作っている農家の婦人グループ10人の人には、なんと高血圧症疑の人は1人もなく境界域の人もわずか2人でした。これは全く偶然ではないと思います。果物はジュースにせず丸ごと食べますとビタミンCもへらず、血液中のコレステロールを下げたり毒物を出し腸の働きを活発にする繊維質が充分にとれます。毎日摂る果物の効果が出たのではないかと思います。（食物は加工食品ばかりに頼らず、火を通した野菜等を多くとるよう心がけましょう）

検診の結果でもおわかりの通り病院にかかったこともなく症状がないだけでは健康とは言えませんし、たとえ病気があるとわかり診断されてもその人の心がけ、療養しだいで健康にハツラツと生活出来ます。来年はあなたも、年に1度は成人病検診を受けましょう。

ありがとうございました

（順不同・敬称略）

赤池町社会福祉協議会

【香典返し】亀谷清一（伏原2）○戸田弘子（西ヶ丘）○松本信行（市場）○日野喜美男（松本一）○深見モト子（原田）○武末一郎（貴船3）以上2月14日現在6件で二十七万円です。

※亀谷清一さんは一月号にもれていましたので今月号に掲載させて頂きます。又二月号の香典返しの中で市津一明とありましたのは市浦一明（松本1）の誤りです。おわびして訂正します。

【賛助会費】一口千円）太田達彦（原田）＝十口○浦田勇（大谷）＝五口

【寄附】赤池町役場ゴールデンスタンプ会＝三千円○桑野組＝七十万円○藤村渚（下小路）＝五千円

【共同募金】出羽オコイ（中町団地）千五百四十円

老人ホーム天郷荘

○老人農園、白菜20kg○戸田弘子（赤池）男女衣類等160点

3月福祉センターの行事

【休館日】
2日、9日、15日
21日、23日、30日

【福祉バス運行日】
休館日を除く毎日

【演　芸】
入館者へ自由に舞台台を提供します

【心配ごと相談日】
7日、17日、27日
午前10時～午後3時

【健康相談日】
第1火曜日（3月3日）

【仏教講演会】
3月13日(火)
午前11時～

※ゲートボール場（ナイター可）も自由にご利用下さい

あなたには可愛らしい犬でも他人にはこわ～い犬なんです

犬は囲の中に入れて、人に害を加えないよう鎖などでつないで飼う。この事はみなさん御存知だと思います。でも犬だっていつもじっとしている訳にもいきません。「たまには散歩にでも行きたい」こう思うのは人間と同じです。そんな時、飼い主はどうするか。

外へ連れ出すときは、綱などでつなぎ、噛む恐れのある場合は口輪もかけなければいけません。

知っていますよねー。でも最近犬の放し飼いに対する町民の方からの電話が多いんです。くれぐれも『放し飼い』などしないで下さい。あなたの飼い犬が皆んなから憎まれれば犬だって哀しいと思うのです。犬の放し飼いはしない。あなたの『愛犬』を『哀犬』にしない為にも…。

固定資産課税台帳をお見せします

昭和六十二年度の固定資産課税台帳を次のとおりお見せします。

これは、昭和六十二年一月一日現在の課税台帳（土地、家屋、償却資産の評価額、課税標準額を記載したもの）を納税者のみなさんに見ていただき、課税の適正化を図っていこうとするものです。

特に昭和六十一年中（一月一日から十二月三十一日まで）に異動（分筆、地目変更、新築、増築、解屋等）をされた方は、ぜひ一度ご覧ください。

○お見せする期間……三月一日から三月二十日まで。（ただし日曜祝日は除く）

○時間……平日は八時半から午後五時まで。土曜日は八時半から十二時半まで。

○場所……役場税務課（窓口2番）

一級技能士全国技能競技大会 — 13～16日（労働省）

いろんな情報

予防・相談

◆乳児保育相談
三月十六日(月)　町民会館
10時～11時30分（生後2カ月～12カ月）

◆三種混合
三月二十日(金)　町民会館
13時30分～15時（生後24カ月～48カ月）

忘れていませんか？
児童手当の申請（3月31日まで）

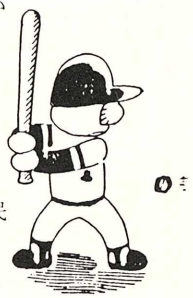
2月号でお知らせしました「児童手当」、4月1日から、今までとは少し変わります。申請をしなければ受給資格ができません。2月号を引っぱり出して読むか、どんな点が変わったのかがわからなければ今すぐ役場住民福祉係へ電話して下さい。☎28―2004（内線49・50番）

看護婦さん募集しています
―― 赤池町立病院

○応募資格＝赤池町内在住で正看の資格を有する25歳未満の方、又は、同じく町内在住者で、3月看護学校などの卒業見込の方で、4月末までに正看の免許を取得できる見込みのある方。
○募集期間＝3月2日(月)～3月16日(月)
○提出書類＝履歴書（自筆で写真添付）資格証明書（写）ただし在学中の方はその証明書
○採用人数　2名
※申込みされる方は、必要書類を添えて町立病院事務室へ提出して下さい。
※その他詳細については町立病院へお問い合せください。　☎28―2083

赤池町軟式野球連盟加盟チーム募集　昭和62年度

資格は町内に在住の方か職場を有する16歳以上の方で作ったチームです。どしどし参加を、お願いします。
○登録金／1万5千円（年間）
○入会金／5千円（入会時のみ）
申し込み用紙等は町民会館、体協事務局まで。
☎28―4100
※開幕は4月5日(日)の予定です。



ギターの好きな方 一度見学に来てみたら

◎日時＝毎日第2、第4日曜日午後1時から3時間程度
◎場所＝伏原集会所
※小学生以上の方なら誰でも歓迎します。特に女性は大歓迎です。問い合せは、村上電器まで☎28―3195

経理事務（簿記・ワープロ）講習会
家庭の婦人が対象です

○申し込み期間＝4月2、3日
○申し込み方法＝電話で申込み、申し込み時に面接日を指定し、面接後選定
○受講期間＝4月22日から6月26日まで21日間（毎週火、木、金曜日）午前10時から午後4時まで
○受講料＝無料。ただし教材費一部受講者負担
○会場＝田川市総合福祉センター（田川市平松町3番36号）
○申込み、問い合せ＝福岡県婦人就業援助センター筑豊支所（飯塚市新立岩8番1号、福岡県総合庁舎）☎飯塚23―4111（内線358）☎飯塚23―4156（直通）

老人生がい対策事業（老人農園）参加者を募集しています

赤池町社会福祉協議会（会長山下次男）では、町からの委託を受けて、老人生がい対策事業（老人農園）を実施しますので、参加希望者を募集しています。
▽期間＝4月1日～昭和63年3月31日まで
▽参加対象者
○町内在住の健康な（診断書を添付）老人で年齢は60歳から75歳まで。ただし夫婦での申込みはできません。
▽申込み・問い合せ
赤池町福祉センター☎28―4646、又は役場住民福祉課☎28―2004（内線49、50番）それぞれに申込用紙がありますので3月1日から10日までに申込み下さい。定員になりしだい締切ります。

有害鳥獣（イノシシ）の駆除を行います

上野、市場地区でイノシシによる農作物への被害が多発しています。
このため町では、地元猟友会のみなさんの協力で三月一日から三十一日まで銃器によるイノシシ駆除を行いますので登山などされる方はご注意下さい。（産業振興課）

食生活改善教室の受講者募集

昭和六十二年度食生活改善推進教室が次のとおり開設されます。受講希望される方は、3月14日までに役場衛生係まで申し込んで下さい。▽受講期間＝昭和62年4月～昭和63年2月まで▽会場＝田川保健所▽内容＝食生活改善テキストによる。

編集室

赤池町では、毎月1日と20日を交通安全の日として、交通量の多い交差点で、通学する児童の街頭誘導をしています。私もあまり役に立ちませんが参加しています。
「おはようございます」大きな声で挨拶する子供たちの笑顔に心が和み、やはり挨拶、それに笑顔というのは大切なんだなーと改めて感じます。白い息を吐きながら、小走りに駆けて行く子供たちに、「今日も頑張れよ」―俺もやるからーそういう声をかけたくなります。
子供たちから教えてもらう事の多い、朝の風景です。

おわびと訂正

二月号四面、昭和六十年度各特別会計の決算状況の表中、町立病院事業、上水道事業の累積額のマイナス(△)がそれぞれ落ちていました。
又、伏原集会所建設事業のうち県費補助金六二二五万円とあるのは、六二二万円の誤りでした。
訂正して、おわびします。

世界気象デー ―― 23日（気象庁）